

## 共通科目シラバス

科目名	臨床病態生理学
担当指導者	河田光博
時間	31 (厚生労働省の規定時間：30時間)
学習概要	臨床解剖学、臨床病理学、臨床生理学を学ぶ 1. 臨床解剖学 2. 臨床病理学 3. 臨床生理学
到達目標	①人体の正常な機能や構造、およびその破綻や調節機能異常に基づく症状やメカニズムを理解し、患者の身体を統合的に把握するための基本的な知識を身につける ②多様な臨床場面において重要な病態の変化や疾患を包括的にいち早くアセスメントし、必要な治療を理解してケアを導くための基本的な能力を身につける
研修方法/ 評価方法	講義（放送授業・面接授業）：e-ラーニングの受講/確認テスト、添削指導 演習（面接授業）：ペーパーシミュレーションによるディスカッション・レポート提出/観察評価 試験（筆記試験）：科目修了試験の実施（教室に集合しPC端末もしくは試験用紙を用いて行う）
備考	講義時間は、動画再生時間、動画中の課題の時間、確認テスト（テスト受講、採点、解答確認）の時間を含みます。自学の時間は含まれません

学習内容	タイトル	講義	演習	評価
<b>1. 臨床解剖学</b>				
①神経系	脳神経系	0.5		
	脳動脈・脳静脈と髄液	0.75		
②循環器	心臓の解剖	0.5		
③呼吸器	胸部の解剖	1		
	上気道、下気道、肺胞の組織構造～換気から拡散へ～	0.75		
④消化管・肝胆膵	消化器総論	1		
	口腔・咽頭と食道	0.5		
	胃・十二指腸	1		
	肝胆膵脾の解剖	1		
⑤腎・泌尿器	腎臓の解剖	0.75		
	腎臓の機能～内分泌機能を中心に～	0.5		
⑥内分泌・代謝	内分泌の解剖・生理学～甲状腺、副腎、視床下部-下垂体～	0.5		
⑦免疫	免疫学の基本	1		
⑧血液	赤血球、白血球、血小板	0.75		
⑨感覚器	聴覚	1		
	眼科	0.5		
	創傷治癒	0.5		
<b>2. 臨床病理学</b>				
⑩呼吸器	呼吸器疾患の病理	0.75		
⑪消化管・肝胆膵	上部消化管の検査	1		
	下部消化管の検査	1		
⑫腎・泌尿器	尿検査	0.5		
	腎生検～適応から病理まで～	1		
⑬感染症	病態微生物（細菌・真菌）～ミクロの世界から考える感染症～	1.25		
	ウイルス感染症	1		
⑭悪性腫瘍	腫瘍の病理学	1		
⑮運動器	神経筋疾患	1		

学習内容	タイトル		講義	演習	評価
3. 臨床生理学					
⑯循環器	心筋の収縮		0.5		
	心臓の電気生理学		1		
⑰呼吸器	呼吸運動と換気		0.5		
	ガス交換と酸素運搬		1		
	血液ガス分析総論		1		
	血液ガス分析実践		0.5		
⑱消化管・肝胆膵	消化管ホルモン（肝、膵）、消化と吸収		1		
	肝胆膵の生理・生化学		0.5		
⑲腎・泌尿器	体内の水分と輸液		1		
	透析の基礎～透析の原理、処方と管理～		1		
【演習1】 ※⑰視聴後	血液ガス分析（症例検討）			1	
まとめ					
	科目修了試験				1
			29	1	1